

Q3 好調で 18/3 期増額修正含み、19/3 期もプラズマ電源伸長、鉄道部門も増益寄与

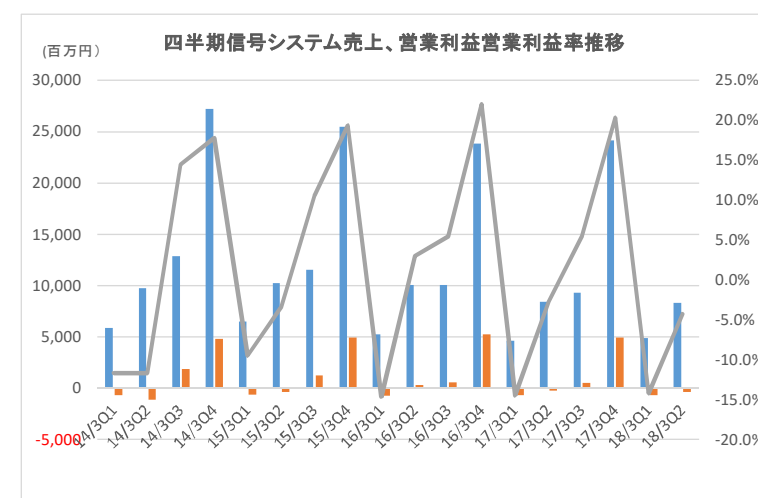
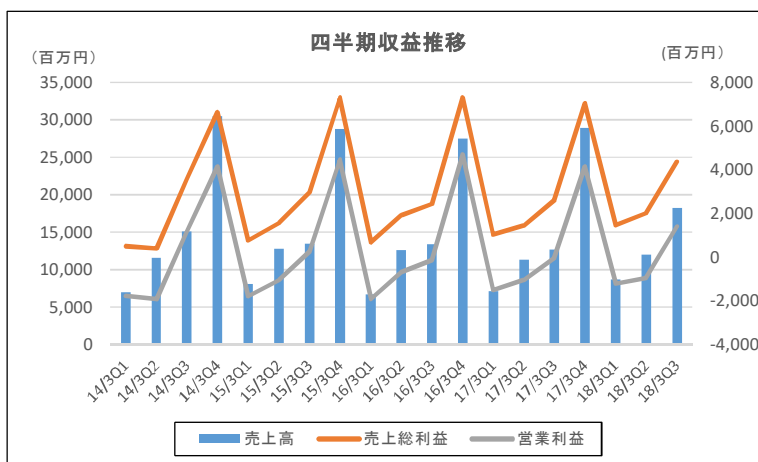
株価 718 円 (2/14) 時価総額 451 億円 (2/14) 発行済株 62844 千株 (2/14)
 PER (13.1X) PBR (1.11X) 配当 13.0 円 配当利回り : 1.81%

要約

- ・ 18/3 期 Q3 累計は 25.2%増収、全社費用控除前営業利益で前年同期比 6.5 倍と大幅増益達成
- ・ 18/3 期予想を変更せず、Q4 のプラズマ電源利益過小評価で大幅増額見通し
- ・ 19/3 期は電源の続伸に加え、信号システムも ATC システム、ホームドア拡大で収益続伸へ
- ・ 株価は 18/3 期 DO 予想 EPS55 円に対し電子部品平均 PER21 倍で 1155 円目標

18/3 期 Q3 累計は 25.2%増収、全社費用控除前営業利益で同期比 6.5 倍と大幅増益達成

18/3 期 Q3 決算が 2/9 に開示され、2/13 に四半期報告書が提出された。18/3 期 Q3 累計は、売上高 389.25 億円 (25.2%増)、全社費用控除前営業利益 26.87 億円 (6.5 倍)、営業損失 7.7 億円 (70.3%減)、経常損失 4.09 億円 (81.4%減)、税引損失 3.26 億円 (81.0%減) と、大幅な収益改善となった。ちなみに Q3 では売上高 182.28 億円 (43.8%増) 営業利益 13.86 億円 (14.25 億円改善し黒字転換) となっており、Q3 で営業黒字化は 15/3 期 Q3 以来である。同社は信号システムが期末集中売上となるため、Q3 まで例年累計営業赤字計上するが、例年と比較し、Q3 累



計で1ケタの赤字にとどまったのは過去5年間で1度もない。

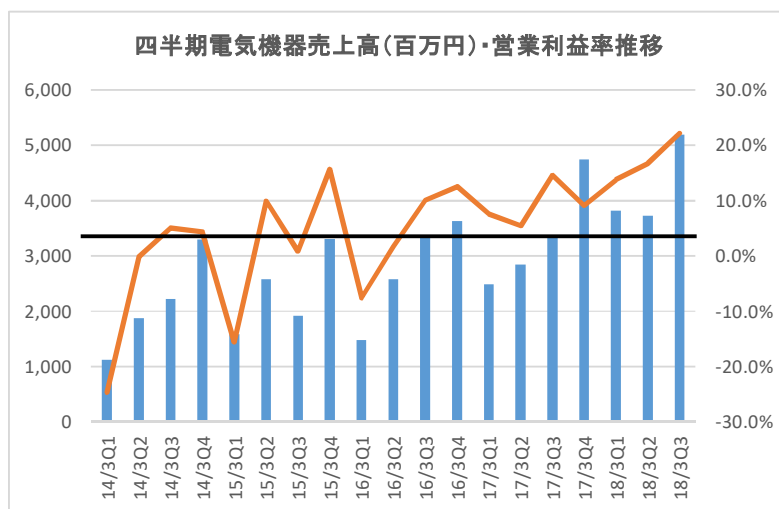
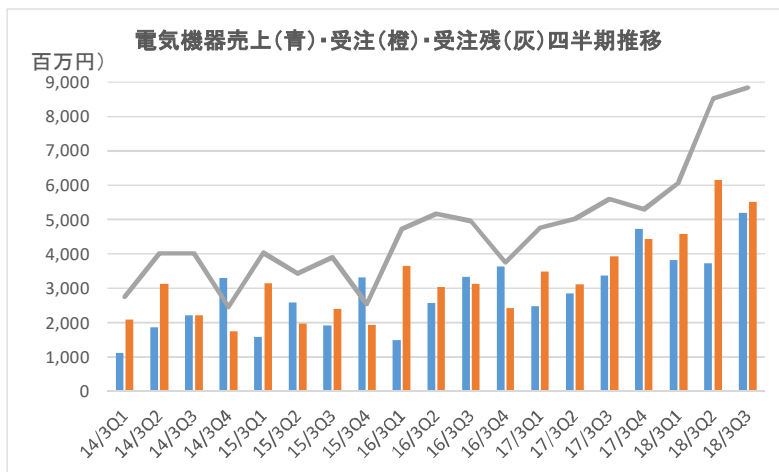
部門別では信号システムが売上高 262.07 億円（17.1%増）、受注高 507.01 億円（25.7%増）、受注残 660.42 億円（37.0%増）、営業利益 3.93 億円（黒字転換）となった。売上高では銀座線ホームドア、JR 四国テレメーター装置などで増収、受注では JR・民鉄各社 ATC 装置等の大口受注を獲得し大幅増に。利益面でも売上増で黒字転換した。

電気機器は売上高 127.18 億円（46.3%増）、受注高 162.61 億円（54.3%増）、受注残高 88.41 億円（57.7%増）、営業利益 22.94 億円（2.75倍）、営業利益率 18.0%

（8.4ポイント改善）、とりわけ Q3 は売上高 51.91 億円となり、はじめて四半期で 50 億円突破となり、営業利益率は 22.2%まで高まった。仕向け先では絶縁膜プラズマエッチングを中心とする半導体製造装置向け高周波プラズマ電源、LCD プラズマエッチング・アッシング向け高周波電源が伸長した。また通信設備用電源も鉄道向けに増加した。

18/3 期予想を 20.0%増収、営業利益 2.77 倍、配当 3 円増配に増額も、更に収益増額可能

Q3 の好調でも、会社側では 10/20 の上方修正値を変更せず、逆算で Q4 は売上高 330.75 億円（14.4%増）、営業利益 50.50 億円（22.3 増）予想となる。この数字自体、大幅増収増益と見えるが、部門別では電気機器が売上高 52.82 億円（11.6%増）、営業利益 2.06 億円（47.7%減）、営業利益率 3.9%（Q3 比較 18.3 ポイントダウン）、受注は 17.39 億円（61.1%減）予想といびつな数字となる。信号システムは計画的な受注消化から受注上振れでも計画通り売上高 540 億円（16.0%増）が見込まれるものの、電気機器は売上高で会社計画並みであれば営業利益は 6 億円程度、実態は全体の 70%を占める半導体・LCD 向けの繁忙、加えて通信設備向けも計画を上回るとすれば通期売上高 190 億円程度まで拡大が見込める。昨



今の円高影響から営業外で差損がある程度見込まれるものの、電機機器部門で営業利益を8億円程度上乗せできると判断、その他経費増などを積み増すとしても会社予想を上回る収益が期待される。なお詳しくは個別取材後に改めて報告するが、当面前回 DO 予想並みの収益が見込める。

19/3 期は電源の続伸に加え、信号システムも ATC システム、ホームドア拡大で収益続伸へ

19/3 期は電機機器がプラズマエッチング装置向け、さらには CVD 装置向けにも拡大が見込め、LCD 製造装置向けも中小型に加え、10.5 世代、11 世代の大型設備投資が目白押しで、同社が得意とする 10 k w 超～30 k w 大容量プラズマ電源の増加が見込まれる。このため電機機器部門の売上高は 1 割程度の生産能力増強も見込み、200 億円を超える見通しで収益に大きく寄与しよう。

また信号システムも、デジタル符号伝送 ATC システムなどの売上増が見込め、さらにシェア 30%（累計 140 駅、7000 扉）を有するホームドアも 50 億円規模にまで拡大見通し。このため 19/3 期収益も好調を持続しよう。

株価は 18/3 期 DO 予想 EPS55 円に対し電子部品平均 PER21 倍で 1155 円目標

株価は高周波プラズマ電源の主力ユーザーである東京エレクトロンの好調もあり、1/17 に 818 円の高値を付けた後、相場急落もあり 2/6 に 658 円まで調整、その後 Q3 発表を受け 2/13 は先週末比 94 円高の 762 円まで上昇、後場に全体の下落し、現在 718 円となっている。18/3 期修正会社予想 EPS51.2 円に対して PER14.0 倍と依然割安感があり、また経常利益で経費増、為替評価減を考慮しても、前回 DO 予想程度の利益が確保できると判断、EPS55 円に対して電子部品平均 PER21 倍の 1155 円を目標とし、アウトパフォーマンス継続とする。

京三製作所(6742)										(百万円、円)	
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当	
16/3期	60,261	-4.6%	1,946	2.8%	2,043	-12.1%	1,423	40.3%	22.700	10.00	
17/3Q1	7,119	5.5%	-1,502	赤小	-1,311	赤小	-1,011	赤小	-16.21	0.00	
17/3Q2	11,288	-10.8%	-1,054	赤大	-1,064	赤大	-857	赤大	-13.58	5.00	
17/3Q3	12,676	-5.1%	-39	赤小	176	黒転	153	黒転	2.44	0.00	
17/3Q4	28,907	5.1%	4,146	-11.6%	4,153	-13.0%	2,641	-22.4%	42.12	8.00	
17/3H1	18,407	-5.1%	-2,556	赤小	-2,375	赤大	-1,868	赤大	-29.79	5.00	
17/3H2	41,583	1.8%	4,107	-9.8%	4,329	-8.1%	2,794	-13.3%	44.56	8.00	
17/3期	59,990	-0.4%	1,551	-20.3%	1,954	-4.4%	926	-34.9%	14.77	13.00	
18/3Q1	8,667	21.7%	-1,209	赤小	-988	赤小	-775	赤小	-12.36	0.00	
18/3Q2会予(8/4)	8,333	-26.2%	-1,491	赤大	-1,512	赤大	-1,025	赤大	-16.34	5.00	
18/3Q2	12,030	6.6%	-947	赤小	-950	赤小	-641	赤小	-10.23	5.00	
18/3Q3	18,228	43.8%	1,386	黒転	1,529	768.8%	1,090	612.4%	17.39	0.00	
18/3Q4会予(2/9)	33,075	14.4%	5,070	22.3%	5,009	20.6%	3,526	26.2%	56.22	8.00	
18/3H1期初会予	17,000	-7.6%	-2,700	赤大	-2,500	赤大	-1,800	赤小	-28.70	5.00	
18/3H1	20,697	12.4%	-2,156	赤小	-1,938	赤小	-1,416	赤小	-22.59	5.00	
18/3H2期初会予	53,000	27.5%	6,200	51.0%	6,300	45.5%	4,400	57.5%	70.15	5.00	
18/3H2修会予(10/20)	51,303	23.4%	6,456	57.2%	6,538	51.0%	4,616	65.2%	73.61	8.00	
18/3期初会予	70,000	16.7%	3,500	125.7%	3,800	94.5%	2,600	180.8%	41.45	10.00	
18/3期修会予(10/20)	72,000	20.0%	4,300	177.2%	4,600	135.4%	3,200	245.6%	51.02	13.00	
18/3H2DO予	52,303	25.8%	7,056	71.8%	6,838	58.0%	4,866	74.2%	76.20	8.00	
18/3DO予	73,000	21.7%	4,900	215.9%	4,900	150.8%	3,450	272.6%	55.01	13.00	
19/3DO予	78,500	7.5%	5,300	8.2%	5,600	14.3%	3,900	13.0%	62.18	16.00	

年度	15/3期	16/3期	17/3期	18/3初会 予	18/3修会 予	18/3DO 予	19/3DO 予
売上高	63,139	60,261	59,990	70,000	72,000	73,000	78,500
売上原価	50,551	47,956	47,885	55,247	55,547	55,700	59,700
売上総利益	12,588	12,305	12,104	14,753	16,453	17,300	18,800
販管費	10,694	10,358	10,553	11,253	12,153	12,400	13,500
営業利益	1,893	1,946	1,551	3,500	4,300	4,900	5,300
経常利益	2,323	2,043	1,954	3,800	4,600	4,900	5,600
親株主帰属純利益	1,057	759	669	2,600	3,200	3,450	3,900
セグメント売上情報年度	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期初 会予	18/3期修 会予	18/3DO 予	19/3DO 予
信号システム	53,741	49,231	46,561	56,000	54,000	54,000	56,500
JR	18,404	16,224	11,996	12,100	12,150	12,150	12,300
合計	63,139	60,260	59,990	70,000	72,000	73,000	78,500
セグメント営業利益	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期初 会予	18/3期修 会予	18/3DO 予	19/3DO 予
信号システム	5,185	5,323	4,535	6,200	6,400	6,400	6,700
電気機器	541	719	1,264	1,700	2,500	3,300	3,600
合計	5,726	6,042	5,799	7,900	8,900	9,700	10,300
調整額	-3,833	-4,096	-4,248	-4,400	-4,600	-4,800	-5,000
営業利益	1,893	1,946	1,551	3,500	4,300	4,900	5,300
年度	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期初 会予	18/3期修 会予	18/3DO 予	19/3DO 予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	80.1%	79.6%	79.8%	78.9%	77.1%	76.3%	76.1%
売上総利益	19.9%	20.4%	20.2%	21.1%	22.9%	23.7%	23.9%
販管費	16.9%	17.2%	17.6%	16.1%	16.9%	17.0%	17.2%
営業利益	3.0%	3.2%	2.6%	5.0%	6.0%	6.7%	6.8%
経常利益	3.7%	3.4%	3.3%	5.4%	6.4%	6.7%	7.1%
親株主帰属純利益	1.7%	1.3%	1.1%	3.7%	4.4%	4.7%	5.0%
セグメント営業利益率	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期初 会予	18/3期修 会予	18/3DO 予	19/3DO 予
信号システム	9.6%	10.8%	9.7%	11.1%	11.9%	11.9%	11.9%
電気機器	5.8%	6.5%	9.4%	12.1%	13.9%	17.4%	16.4%
合計	9.1%	10.0%	9.7%	11.3%	12.4%	13.3%	13.1%
調整額	-6.1%	-6.8%	-7.1%	-6.3%	-6.4%	-6.6%	-6.4%
総計	3.0%	3.2%	2.6%	5.0%	6.0%	6.7%	6.8%

